

Economic Indicators

発表日:2020年3月18日(水)

貿易統計(2020年2月)

～新型コロナウイルスの影響で中国からの輸入が急減。3月以降は輸出下振れの公算大～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

エコノミスト 奥脇 健史 (TEL:03-5221-4524)

		貿易収支(億円)				輸出数量				輸入数量			
		輸出金額		輸入金額		前年比	アメリカ	EU	アジア	前年比	アメリカ	EU	アジア
		原数値	季調値	前年比	前年比								
19年	3月	5,173	▲2,559	▲2.4	1.3	▲5.6	0.4	2.8	▲8.0	0.5	▲2.9	▲11.6	5.5
	4月	590	▲2,293	▲2.3	6.5	▲4.2	5.4	▲1.5	▲3.5	4.2	1.5	5.0	3.4
	5月	▲9,654	▲5,407	▲7.7	▲1.5	▲8.9	▲0.8	▲5.4	▲11.8	▲1.2	5.8	8.5	▲2.9
	6月	5,881	▲337	▲6.6	▲5.2	▲5.5	2.9	▲6.1	▲5.3	▲3.2	2.9	▲6.2	▲3.7
	7月	▲2,539	▲1,523	▲1.5	▲1.1	1.4	10.1	5.7	▲5.0	6.6	9.4	0.9	8.3
	8月	▲1,522	▲1,336	▲8.2	▲11.8	▲5.9	▲3.5	▲1.5	▲8.9	▲6.1	▲3.0	▲3.3	▲4.1
	9月	▲1,291	▲366	▲5.2	▲1.4	▲2.3	▲4.0	3.7	▲6.0	6.7	▲1.0	8.8	8.1
	10月	112	▲202	▲9.2	▲14.7	▲4.4	▲6.7	▲8.4	▲7.1	▲6.1	▲7.6	▲10.3	▲7.0
	11月	▲884	▲253	▲7.9	▲15.6	▲5.0	▲9.7	▲10.3	▲2.7	▲8.1	▲1.4	▲10.6	▲8.5
	12月	▲1,591	334	▲6.3	▲4.8	▲1.9	▲11.4	▲7.4	0.5	1.2	▲5.0	2.5	0.5
20年	1月	▲13,132	▲787	▲2.6	▲3.6	▲1.6	▲8.9	▲9.1	▲1.5	▲1.7	▲19.9	1.2	0.3
	2月	11,098	4,983	▲1.0	▲14.0	▲2.4	▲4.5	▲9.7	▲1.0	▲17.3	▲11.1	▲8.5	▲25.0

(出所)財務省「貿易統計」

○新型コロナウイルスの影響により、中国からの輸入が急減

財務省より発表された2月の貿易統計によると、貿易収支は11,098億円の黒字(コンセンサス:9,295億円の黒字、レンジ:5,279~13,250億円の黒字)となり、コンセンサスを上回る結果となった。

輸出金額は前年比▲1.0%(コンセンサス:▲4.1%、レンジ:▲8.6%~▲0.5%)、輸入金額は同▲14.1%(コンセンサス:▲20.7%、レンジ:▲20.7%~▲11.2%)とともに減少した。季節調整値で見ると輸出金額は前月比+3.4%、輸入金額が同▲6.1%となり、貿易収支は4,983億円の黒字と季節調整値では1年ぶりに貿易収支は黒字となった。

輸出については、半導体等電子部品のアジア向け輸出拡大などを受けて、前年比での下げ幅を縮小させた。輸入については、液化天然ガスの減少が続いていることに加え、中国からの輸入が▲47.1%と急減したことにより、前年比で大幅な減少となった。中国からの輸入の急減は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた春節期間の延長、工場の操業停止などを受けたものとみられる。

○実質輸出は前月比+1.6%とプラスに転じる

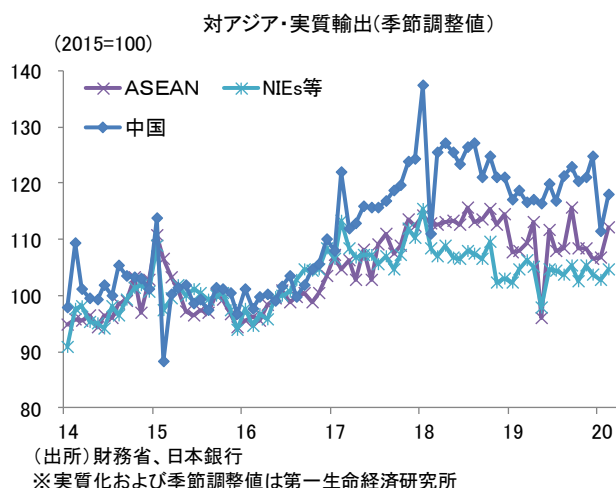
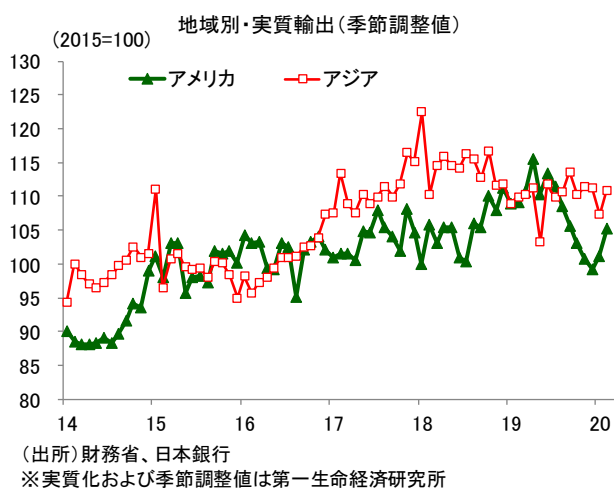
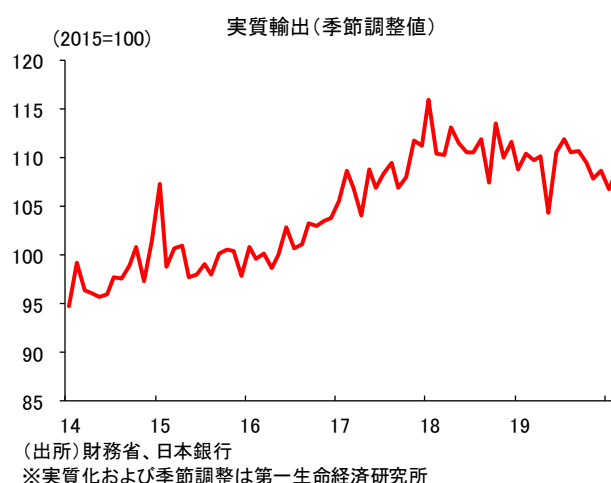
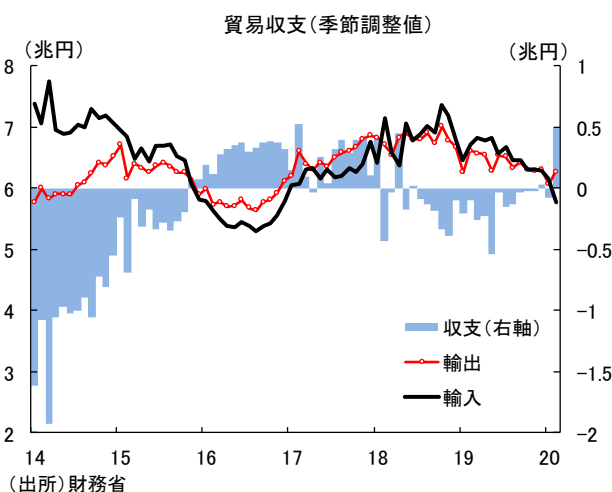
為替などの価格変動の影響を除いた2月の実質輸出は、前月比+1.6%(12月:▲1.8%、実質化・季節調整は第一生命経済研究所試算)となった。化学製品、金属同製品、電気機器などが前月比でプラスとなった。

米国向けは前月比+4.0%と2か月連続で増加し、持ち直しの動きが続いた。また、アジア向けも+3.3%と増加に転じた。世界的な半導体サイクルの改善を受け、半導体等電子部品を含む電気機器が輸出の増加に寄与したとみられるほか、1月の中国の春節時期のずれを受けた減少の反動とみられる。なお、2月時点では、新型コロナウイルス感染拡大の輸出への影響は明確には確認できなかった。だが3月以降は世界的な感染の広がりによるサプライチェーンへの悪影響は避けられない情勢であり、輸出は大幅に下振れる可能性が高いだろう。

○新型コロナウイルスの感染拡大は世界的な広がりとなり、先行きは更なる下振れが見込まれる

2月の貿易収支は昨年からの黒字幅を拡大させる結果となったが、輸出入ともに前年比での減少が続いている。新型コロナウイルスの感染拡大は中国からの輸入急減という形であらわれ、3月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が中国以外でも顕在化するだろう。

足元で感染拡大の中心は中国から欧州へと移行しており、欧州では自動車工場が稼働停止となるなど経済活動への影響は深刻なものとなっている。また、アメリカでも感染拡大は広がりをみせており、世界経済のけん引役であったアメリカ経済への打撃も避けられない情勢である。半導体サイクルの持ち直しを主因に輸出は緩やかな回復が見込まれていたが、感染拡大の広がりを受け今後は大きく落ち込むだろう。3月以降、輸出入は更に下振れる可能性が高い。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。